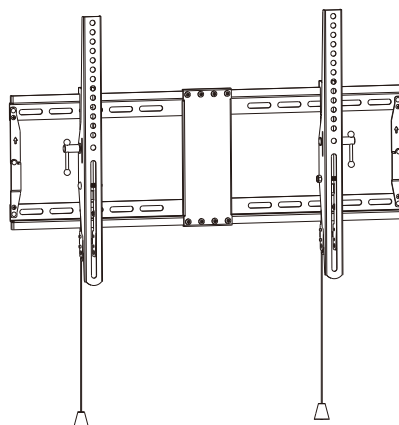


薄型テレビ 上下角度調節付き 壁掛け汎用金具
TV セッターチルト



EI500

設置マニュアル




施工者の方へ

設置前に必ずモニターと金具の適合をご確認ください

右のQRコードから最新の適合情報・設置の注意点などをご覧ください



●設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	壁面距離	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦 100mm～400mmの間 横 200mm～600mmの間	37-65 インチ	49mm	35kg 

この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。

当商品は、D I Y (日曜大工) が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。

しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいようお願い申し上げます。

基本的にはお近くの内装業者・電設業者へ依頼をされる事をお勧めします。



組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・テレビの壁掛け以外のご使用、部品の改造等はいしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者にご相談ください。

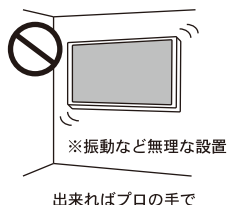
製品に関するお問い合わせ： **0422-38-4912** 受付時間10:00～18:00(土・日・祝除く)

販売元：スタープラチナ株式会社 〒180-0006 東京都武蔵野市中町2-2-2 ジュネス武蔵野5F
<https://starplatinum.co.jp/>

設置にあたって：必ずお読みください

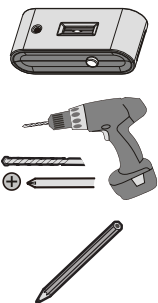


- 必ず耐荷重強度のある壁や壁裏の間柱（スタッド）にしっかりと設置してください。無理な設置はテレビの落下、大怪我に繋がります。石膏ボード壁のみへの設置はお止めください。
- コンクリートやレンガ壁に設置する場合、専門業者に依頼するようにしてください。
- 電源コードや配線にキズを付ける事の無いようにご注意ください。火災などの原因になります。
- 設置の際は、テレビや周辺機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。
- 以下の場所には設置をしないでください。
 - ・振動があるような不安定な場所
 - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
 - ・湿度や温度の高い場所
 - ・テレビの通気が悪い場所（エアコンの側、天井のすぐ側等）
 - ・開閉するドアの側
 - ・その他、テレビ設置に不適格だと思われる場所



設置にあると便利な道具

- 1) 間柱センサー
壁裏にある間柱を見つけるのに便利です。
細い針（検知針）やキリを壁に刺して代用する事も可能です。
- 2) ドライバー
ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。
- 3) ドリルドライバー
電動ドライバーです。壁のネジ穴の下穴を開けるのにも使えます。
- 4) ペン
壁にネジを打ち込む位置をマーキングします。
- 5) メジャー
床からの距離を測ったり、金具の水平を取る時などに使用場合があります。
- 6) 柔らかい布
設置の過程で、床などにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。
- 7) 軍手
手を保護します。テレビを持つ時は滑らないように素手が良いかもしれませんが。



さあ、設置・・・の前に

- 設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

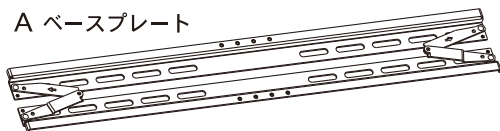
取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	壁面距離	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦 100mm～400mmの間 横 200mm～600mmの間	37-65 インチ	49mm	35kg

- 設置に必要なネジ類は付属しています。しかし壁の状態によっては若干短かめのネジがあると作業がしやすい場合があります。その時はホームセンター等でご用意下さい。

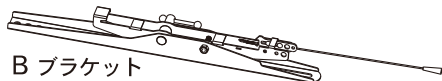
付属部品リスト一覧

以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。もし足りない部品がある場合、ご購入店にご連絡ください。

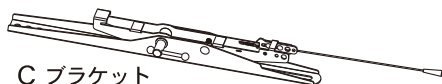
A ベースプレート



B ブラケット



C ブラケット



D プレート



E プレート固定ボルト
8 個



F ベース固定ボルト
4 個



G 水平器

●ネジパッケージM(ネジ袋にナンバリングがしてあります)

テレビと金具の接合に使用する部品です。すべての部品を使用するわけではありません。

M-A



M5×14mmボルト
4 本

M-B



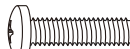
M6×14mmボルト
4 本

M-C



M6×30mmボルト
4 本

M-D



M8×30mmボルト
4 本

M-E



M8×50mmボルト
4 本

M-F



5mm ワッシャー
4 個

M-G



8mm ワッシャー
4 個

M-H



小スペーサー
8 個

M-I



スペーサー
8 個

●ネジパッケージW(ネジ袋にナンバリングがしてあります)

壁に金具を取り付ける際に使用する部品です。すべての部品を使用するわけではありません。

W-A



壁用ラグボルト
4 本

W-B ※使用しないでください



コンクリート壁用アンカー
4 本

W-C



壁用ワッシャー
4 個

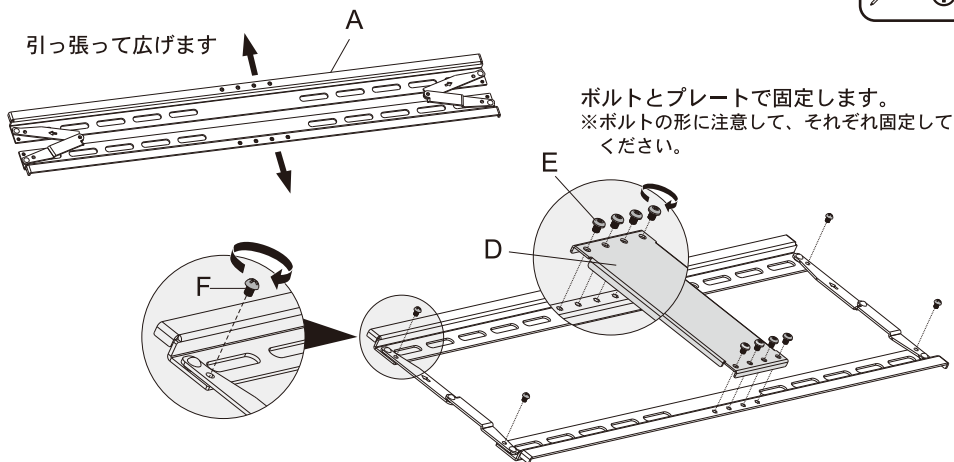
※壁の状態によって、別のサイズや種類のネジがあると作業がしやすい場合があります。その際はホームセンター等でご相談ください
※コンクリートやレンガ壁への設置は、難易度が高い施工になります。お近々の内装業者等の専門業者に依頼してください。
個人での設置は絶対に行わないようにしてください。

ステップ1

ベースプレートの組み立て

ベースプレート [A] を組み立てます。

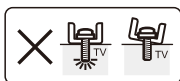
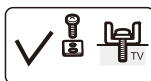
フレームを上下に引っ張り、完全に開いたところで中央の部分をプレート [D] とボルト [E] で、角 4 カ所をボルト [F] でしっかりと固定します。



ステップ2

テレビブラケットの取り付け

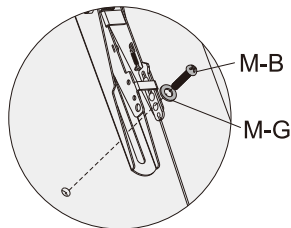
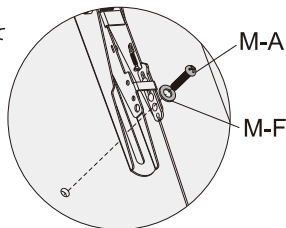
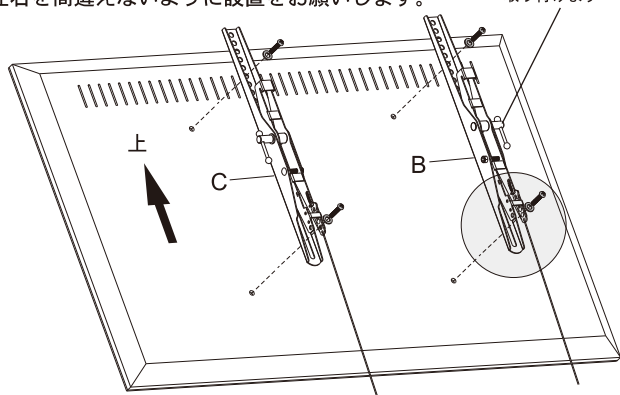
図を参考にして、お手元のテレビに合うネジを使用し、テレビブラケット [B] と [C] をテレビ背面にあてがいネジ止めします。



角度調節ハンドルを外側にして下さい。

左右を間違えないように設置をお願いします。

ハンドルを外側にして
取り付けます



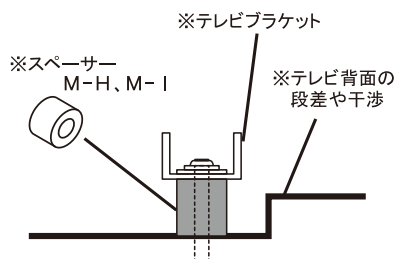
ご注意

- 1) ブラケットの上下を間違えないように注意してください。
- 2) 万一、ブラケットのネジ穴がテレビ背面に合わない場合、お取付けができません。設置作業を中止してください。

●テレビの背面に段差がある場合、もしくはネジが長すぎる場合の取り付け

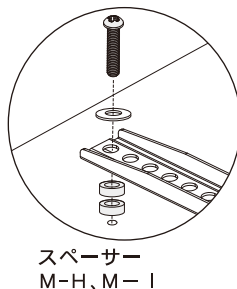
テレビに段差があったりネジが長すぎる場合、付属のスペーサーを使って段差を埋めたり、ネジ穴の深さの調節をします。

テレビ背面に段差があった場合



ネジの長さが余ってしまう場合

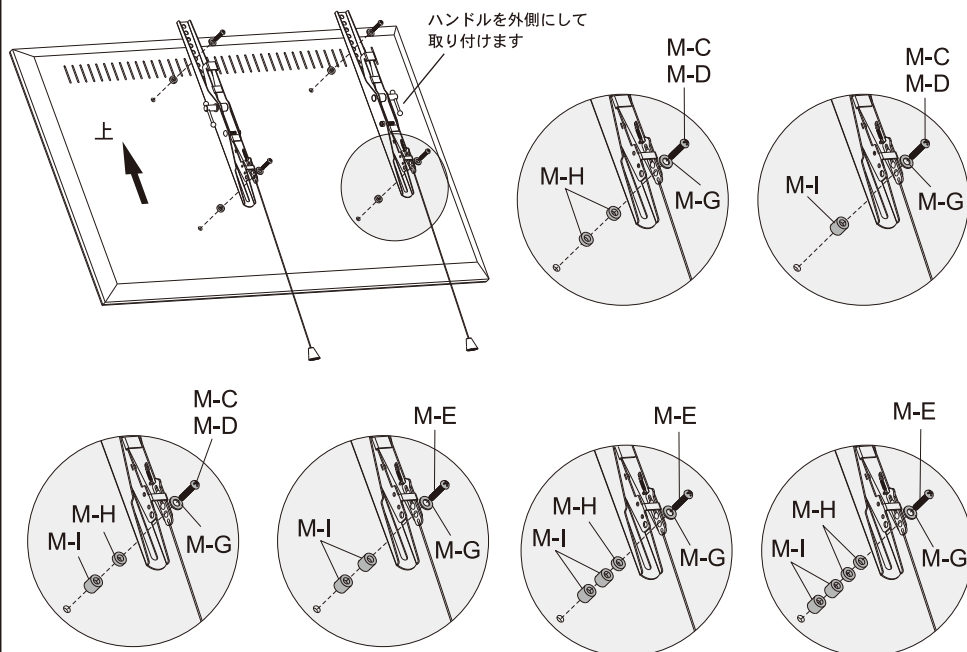
ネジの長さが余ってしまう場合、スペーサーを金具とテレビの間に挟んでネジ止めします。使用するスペーサーの数はネジの長さのあまり具合によって、重ねる数と厚さを選んでください。ネジ穴の深さより長いネジを使用するとテレビ内部の基盤を破損する恐れがあります。



最適なスペーサーの噛ませ方については下図を参考にお手元のテレビに合わせて下さい。

角度調節ハンドルを外側にしてブラケットを取り付けて下さい。

左右を間違えないように設置をお願いします。



ステップ 3-a

壁の強度の確認と下穴の開き



テレビ壁掛けの最重要ステップです。

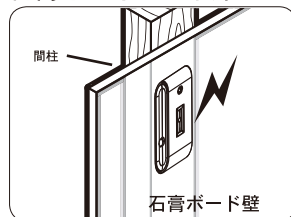
取り付けは慎重・確実に作業するようにしてください。

壁面への取付不備による事故・損害、及び施工中に付くキズ・破損等については、一切の保証がありません。少しでも不安に感じたら、お近くの内装業者・電設業者に相談してください。

最重要ポイント

壁裏の間柱や強度のある壁に設置を！石膏ボードのみへのくぎ打ちでは強度不足です！

石膏ボード壁は間柱に！



●一般の石膏ボード壁の場合
壁裏センサーを使用して間柱を見つける。
キリ等を使う場合、何度か刺して柱の中央を見つけてみましょう。

●壁の構造について(必ず耐荷重のある壁への設置を！)

設置は補強のある壁、もしくは壁裏の間柱(スタッド)に行ってください。
石膏ボード壁の場合、ボードのみの部分にネジ打ちする事の無いよう、十分に注意ください。壁裏の間柱を見つけるにはホームセンター等で売っている壁裏センサー(1500円程度)やキリを更に細くした検知針が便利です。

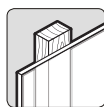
●間柱を見つけたら

間柱を発見した場合、間柱の「中央」にネジを打つ必要があります。間柱の端にネジを打つと強度が不十分だったり、間柱が割れてしまう事もあるので注意しましょう。詳しくはセンサーや検知針の説明書をご覧ください。

●コンクリートやレンガ壁について

コンクリートやレンガ壁への設置は、難易度が高い施工になります。お近くの内装業者等の専門業者に依頼してください。

個人での設置は絶対に行わないようにしてください。



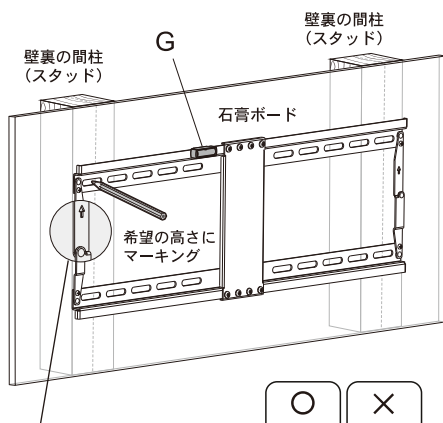
間柱に設置を



壁裏センサー



マーキング



設置の際は金具の上下の向きに注意してください



目視&水平器等を参考に水平に設置を！

1 設置位置の確定

現在の主流である石膏ボード壁の場合、上記を参考に壁裏の間柱(スタッド)を見つけてください。

間柱は一般的に 40～45センチ幅で設置されている事が多いようです。ご参考ください。

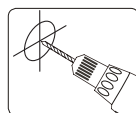
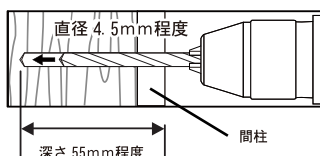
間柱が確定したら、ベースプレートを用いて、左図のようにネジ穴にマーキングをします。

2 ネジ打ち用下穴の開き

壁を横から見た断面図(下)を参考にして、ネジ打ち用の下穴を開けます。電動ドリルがあると便利です。

壁にキズをつけますので、慎重に作業を行ってください。

下穴を開けておくとして「ステップ 3-b」が楽になり、工事の失敗の可能性が下がります。

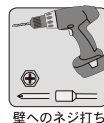


下穴は真っ直ぐに開けるよう注意を

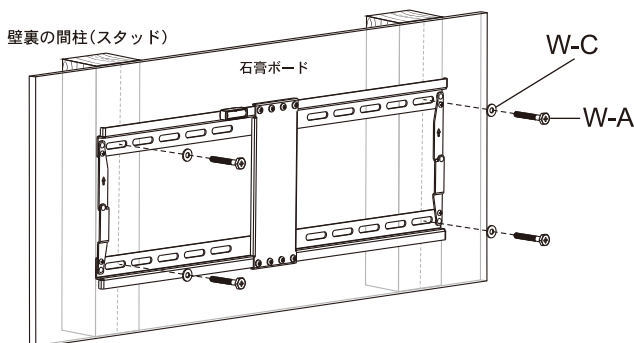
ステップ 3-b

壁面への金具の取り付け

最も大切な部分です。下図を参考に壁用ラグボルト [W-A] を使い、ベースプレート [A] を壁面にしっかりと打ち付けます。



壁へのネジ打ち



ご注意

設置は自己責任です。必ず間柱などに設置を！
ネジ打ち後、少しでも違和感を感じたら（ネジの空回り等）
設置を中断し、専門業者にご相談ください。

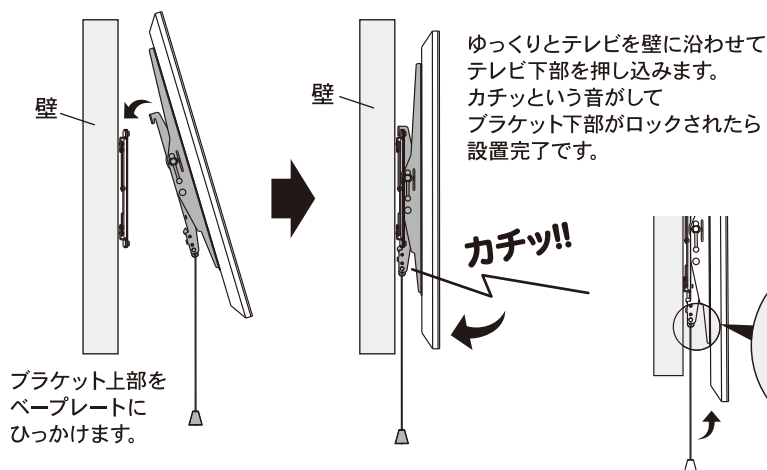
ステップ 4

テレビと壁面プレートの取り付け

テレビブラケット [B] と [C] の上部をベースプレート [A] の上部に引っかけます。
上部がしっかりと引っかかっている事を確実に確認してください。
ゆっくりとテレビを壁に沿わせ、カチッと音がするまでテレビ下部を押し込みます。
この作業の前に、必要な配線の取り付け処理を行っておくと良いでしょう。



二人での作業を推奨



ご注意

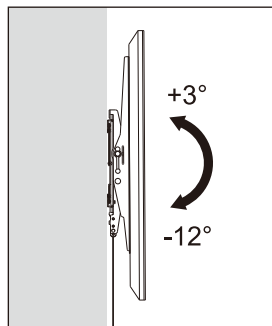
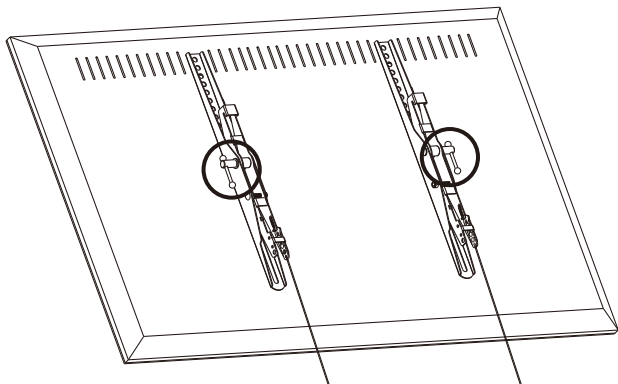
テレビの落下に注意して、
必ず2名以上で作業してください。

コードはマグネット付きです。
正面から見えないように
金具にくっつけて背面に隠せます。

ステップ 5

上下角度調節

ブラケットの左右のノブを緩めて、テレビの角度をお好みの上下角にしたらノブを締めてしっかりと固定して下さい。



上に3度、下に12度の角度まで調節できます。

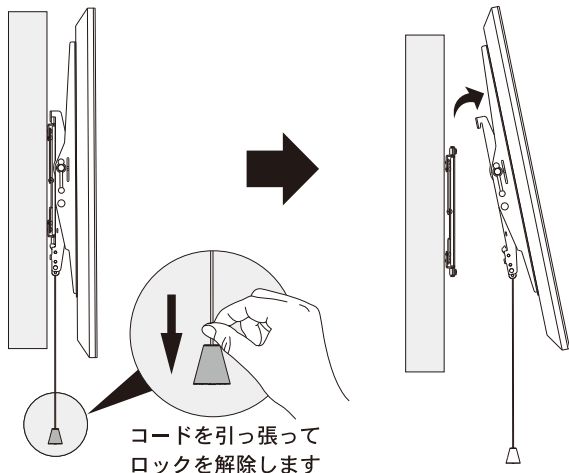
ステップ 6

テレビを外す時は

テレビを外す場合、下図のようにブラケットのコードを引っ張ってロックを解除します。ロックが外れたら、テレビを上側に持ち上げてはずします。



二人での作業を推奨



ご注意

テレビの落下に注意して
必ず2名以上で
作業してください。



最後に

各取り付け部分や壁面部にガタつき等が無いが、チェックしてください。

緩みがあった場合はしっかりと締めなおしてください。

これらのチェック作業は3か月程度を目安に定期的に行い、経年使用による落下などが無いように注意してください。

また、少しでも違和感や不安点があった場合はテレビを一旦取り外し、専門業者にご相談ください。